

I. 中心市街地全体に係る評価

○計画期間：平成29年4月～令和4年3月（5年0月）

1. 計画期間終了後の市街地の概況

平成29年4月以降、認定基本計画に基づき「暮らし続けたい 訪れたい 商いしたいまちの創造」を基本理念に掲げ、各事業を実施した。近江鉄道八日市駅前でのホテル開業に伴い、宿泊客を中心に新たな来街者が増加したことにより、中心市街地周辺は多くの飲食店が開業し、新たな人の流れが生み出された。また、居住においては、宅地開発等が進み居住人口が増加した。全体的に目標指標の数値は当初よりも上昇しており一定の成果が出ている状況である。

中心市街地エリア全体を見ると、延命新地では地域の景観形成の促進により、風情あるまちなみがゆるやかに保存・再生され、雰囲気合った店舗の開業もみられた。また、中心市街地エリアの南側では、保健子育て複合施設ハピネスや中野むくのき幼児園等の整備が行われた。保健子育て複合施設ハピネスは子どもから高齢者まで切れ目ない支援を実施する施設として、中心市街地の暮らしやすさ向上につながっている。

そのほかにも、新型コロナウイルスの感染拡大前には、民間団体等を中心に各種イベントが中心市街地で行われるなど、ソフト及びハード事業が官民一体となって進められた。

一方で、中心市街地への更なる居住の促進、アフターコロナを見据えたにぎわいの創出、商業のまちとしての商業環境の維持などの課題があり、更なる取組を進めていく必要がある。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度1月1日)

(中心市街地 区域)	平成28年度 (計画前年度)	平成29年度 (1年目)	平成30年度 (2年目)	令和元年度 (3年目)	令和2年度 (4年目)	令和3年度 (最終年度)
人口	7,394人	7,336人	7,448人	7,493人	7,525人	7,490人
人口増減数	29人	▲58人	112人	45人	32人	▲35人
自然増減数	1人	▲34人	▲15人	▲8人	▲19人	
社会増減数	37人	25人	129人	86人	41人	
転入者数	373人	383人	527人	525人	497人	

(2) 地価(中心市街地住宅地)

(単位：円/㎡)

	平成28年度 (計画前年度)	平成29年度 (1年目)	平成30年度 (2年目)	令和元年度 (3年目)	令和2年度 (4年目)	令和3年度 (5年目)
東近江市八日市町 157番7	55,000	54,600	54,200	53,800	52,700	51,400
東近江市八日市 緑町34番2	58,700	58,700	58,700	58,700	58,900	58,900

(3) 地価 (中心市街地商業地)

(単位: 円/㎡)

	平成28年度 (計画前年度)	平成29年度 (1年目)	平成30年度 (2年目)	令和元年度 (3年目)	令和2年度 (4年目)	令和3年度 (5年目)
東近江市八日市 東浜町432番外	77,000	77,000	77,000	77,000	77,300	77,000
東近江市八日市 本町613番	86,000	84,700	84,300	84,300	84,300	84,000
東近江市東中野町 235番5	59,900	59,800	59,700	59,700	59,900	59,700

2. 計画した事業等は予定どおり進捗・完了したか。また、中心市街地の活性化は図られたか。(個別指標ごとではなく中心市街地の状況を総合的に判断)

【進捗・完了状況】

①概ね予定通り進捗・完了した

②予定通り進捗・完了しなかった

【活性化状況】

①活性化した

②若干活性化した

③計画策定時と変化なし

④計画策定時より悪化

3. 進捗状況及び活性化状況の詳細とその理由(2.における選択肢の理由)

進捗状況については、主要な事業は遅延なく実施できており、概ね順調に進捗・完了した。

活性化状況については、3つの目標指標のうち、歩行者自転車通行量(平日)及び新規出店事業者数については目標を達成していること、人口及び歩行者自転車通行量(休日)については未達であったが、基準値より増加し上昇基調にあることから「若干活性化した」と判断した。

4. 中心市街地活性化基本計画の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

【活性化状況】

①活性化した

②若干活性化した

③計画策定時と変化なし

④計画策定時より悪化

【詳細を記載】

※中心市街地活性化協議会開催後の意見を記載し、差替。

5. 市民意識の変化

【活性化状況】

①活性化した

②若干活性化した

③計画策定時と変化なし

④計画策定時より悪化

【詳細を記載】

東近江市中心市街地活性化に向けたアンケート

調査日: 令和2年12月11日~令和3年1月4日

調査方法: 東近江市在住で18歳以上の2,506人(無作為抽出)

有効サンプル数: 982人(回収率39.2%)

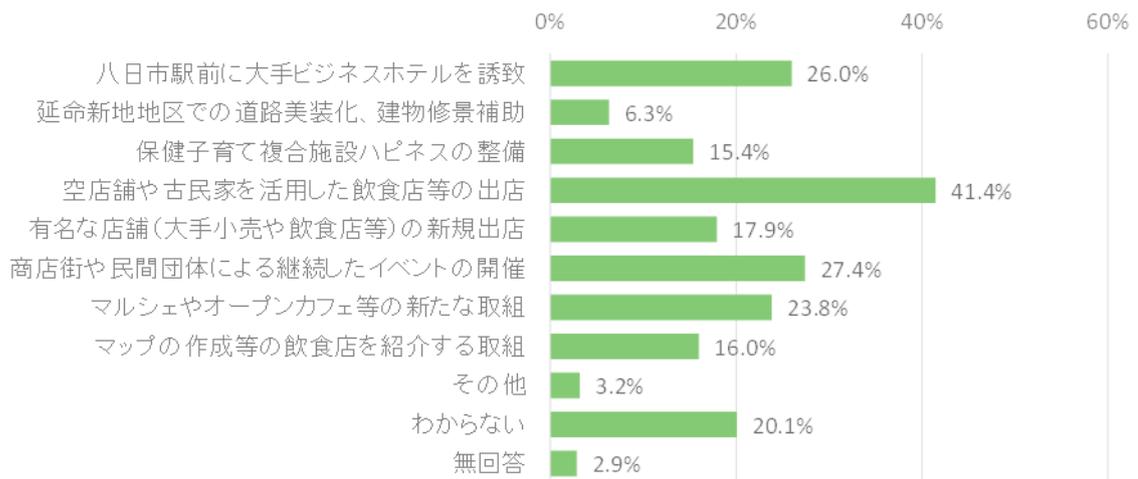


図 中心市街地の活性化に効果があったと思う取組

中心市街地の活性化に効果があったと思う取組についてアンケートを行ったところ「空店舗や古民家を活用した飲食店等の出店」、「商店街や民間団体による継続したイベント実施」、「八日市駅前に大手ビジネスホテルの誘致」等の官民一体の取組が評価を得ていた。

6. 今後の取組

認定基本計画により、「中心市街地の活性化は一定程度進んだが、更なる課題も見つかり、活性化に向けた一層の取組が必要である。

このため、新たな基本計画を策定し、前計画の成果を活かしながら、新しい取組を充実させていくこととする。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 各目標の達成状況

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値		達成状況
				(数値)	(年月)	
暮らし続けたいと思えるまち	市全体に占める中心市街地内人口の割合	6.39% (H28)	6.74% (R3)	6.62%	R3	B2
歩いて楽しい回遊性の高いまち	歩行者・自転車通行量	平日7,471人 休日6,195人 (H27)	平日8,300人 休日6,900人 (R3)	平日6,400人 休日7,310人	R3	B2
様々な世代が訪れたいと思える魅力ある店舗の集積するまち	八日市駅周辺及び商店街での新規出店事業者数	—	15店舗 (R3)	57店舗	R3	A

<達成状況の分類>

A：目標達成、B1：概ね目標達成（基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている）、B2：基準値より改善（基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない）、C：基準値に及ばない

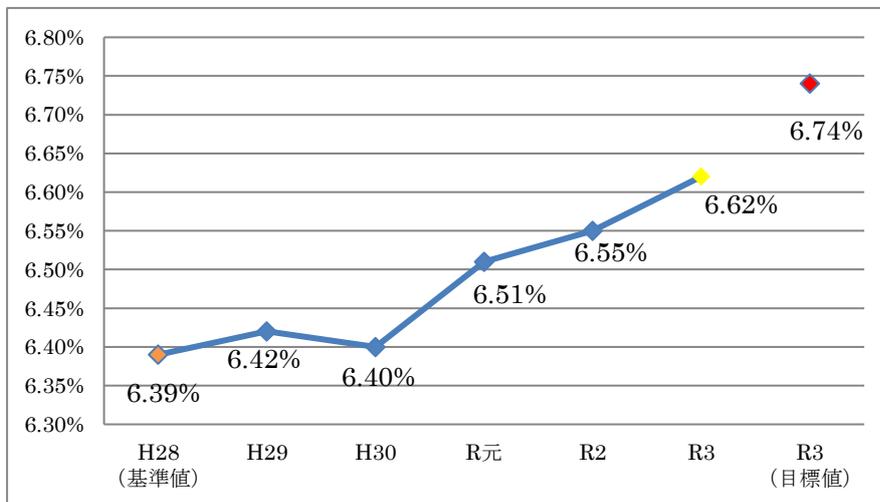
※上記について、関連する事業等が予定どおり進捗・完了しなかった場合は、小文字にして下さい。（注：小文字のa、b1、b2、cは下線を引いて下さい）

2. 目標指標ごとのフォローアップ結果

（1）「市全体に占める中心市街地内人口の割合」（目標の達成状況【B2】）

※目標設定の考え方認定基本計画P. 76～P. 77参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H28	6.39% (基準年値)
H29	6.42%
H30	6.40%
R元	6.51%
R2	6.55%
R3	6.62%
R3	6.74% (目標値)

※調査方法：住民基本台帳登録人口

※調査月：毎年1月1日現在

※調査主体：東近江市

※調査対象：中心市街地の住民基本台帳登録人口

<分析内容>

市全体に占める中心市街地内人口の割合の増加に向けた各事業については、概ね順調に進捗した。

市全体に占める中心市街地内人口の割合は、住まいる事業（住宅取得）の実施効果に加え、民間事業者による住宅開発等により、人口は若干増加したが、市全体の人口減少が想定よりも緩やかであったため、目標未達となった。

●目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果

①. 住まいる事業（住宅取得）【東近江市】

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	本市へのUターン者又は中学校修了前の子供がいる40歳未満の子育て世帯が新築・中古住宅を取得した場合に取得費の一部を補助する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	本事業の利用実績は、平成29年度14軒、平成30年度13軒、令和元年度6軒、令和2年度13軒、令和3年度13軒 1世帯あたり3人増加と仮定して、 事業目標値 180人増加/5年 最新値 177人増加/5年 目標未達成（基準値から目標値までの幅の9割ライン 162人増加/5年は超えている。）
達成した（できなかった）理由	令和元年度の利用が少なかったことにより、目標未達となった。
計画終了後の状況及び事業効果	中心市街地の人口が増加しているのは、本事業の効果も一因として考えられる。
事業の今後について	利用実績が順調に推移していることもあり、今後も活用の促進に向けて、引き続き情報発信等を行っていく。

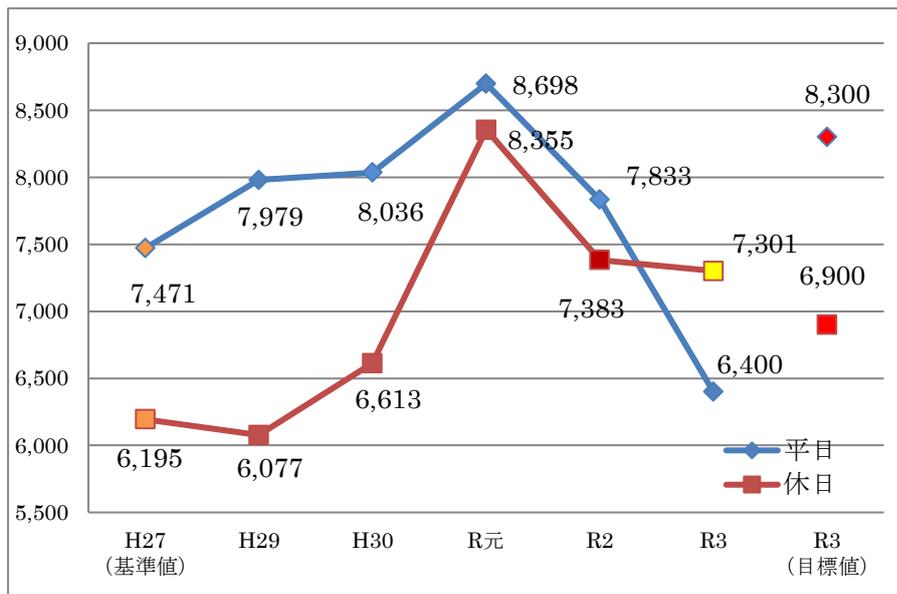
② 住まいる事業（空家改修）（東近江市、一般社団法人東近江住まいるバンク）

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	東近江市空家バンクを活用し住宅を取得又は賃貸する場合に改修費の一部を補助する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし 〔認定基本計画：空家対策総合支援事業（国土交通省）（平成28年度から令和元年度まで）〕
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地内での補助利用実績はなし。
達成した（できなかった）理由	利用実績がなく、目標に未達となった。
計画終了後の状況及び事業効果	本事業の実績はなかったものの、中心市街地の人口は増加している。
事業の今後について	利用実績を増加させていくため、空家バンクと連携して対象者の掘り起こしを行うとともに、情報発信等を行い、活用を促進していく。

●今後の対策

まちなか居住をさらに促進するため、生活環境、利便性の向上、居住支援の継続、子育て環境の整備を行っていく。

(2) 「歩行者・自転車通行量」(目標の達成状況【B2】)
 ※目標設定の考え方基本計画P78～P79参照



年	(単位)
H27	平日 7,471 人 休日 6,195 人 (基準年値)
H29	平日 7,979 人 休日 6,077 人
H30	平日 8,036 人 休日 6,613 人
R元	平日 8,698 人 休日 8,355 人
R2	平日 7,833 人 休日 7,383 人
R3	平日 6,400 人 休日 7,301 人
R3	平日 8,300 人 休日 6,900 人 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車通行量(平日、休日)調査
 ※調査月：秋(11月)の平日、休日
 ※調査主体：一般社団法人八日市まちづくり公社
 ※調査対象：歩行者・自転車通行量(平日、休日)5地点



平日	平成27年度 (計画以前年度)	平成29年度 (1年目)	平成30年度 (2年目)	令和元年度 (3年目)	令和2年度 (4年目)	令和3年度 (5年目)
八日市駅前広場前	763	658	675	864	860	977
ピアガーデン前	4,366	4,531	4,419	4,972	4,156	3,313
太子ホール前	502	607	602	579	663	599
八日市図書館前	1,120	1,251	1,235	1,210	1,145	919
東近江市役所前	720	932	1,105	1,073	1,009	592
合計	7,471	7,979	8,036	8,698	7,833	6,400

休日	平成27年度 (計画以前年度)	平成29年度 (1年目)	平成30年度 (2年目)	令和元年度 (3年目)	令和2年度 (4年目)	令和3年度 (5年目)
八日市駅前広場前	541	563	682	1,191	964	1,028
ピアガーデン前	3,607	3,732	4,078	5,040	4,140	4,350
太子ホール前	421	375	297	419	489	429
八日市図書館前	1,037	977	965	969	1,181	887
東近江市役所前	589	430	591	736	609	607
合計	6,195	6,077	6,613	8,355	7,383	7,301

〈分析内容〉

新型コロナウイルス感染症の影響があり平日及び休日ともに最新値は、令和2年度と比較して落ち込んだものの、休日の通行量は目標値を上回ったことや、新型コロナウイルス感染症を受ける前の令和元年度には平日及び休日ともに目標値を上回っていることから、各種事業により一定の効果があったものと考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 八日市駅前宿泊施設整備事業

(一般社団法人八日市まちづくり公社、ルートインジャパン株式会社)

事業実施期間	平成29年3月【済】 [認定基本計画：平成28年度～平成30年度]
事業概要	八日市駅前にある未利用地に宿泊施設を整備する。 7階建、180室
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	1日あたり6割稼働を想定しており、新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、直近半年間は7～8割の稼働率に回復している。なお、本事業により250人の事業効果を見込んでいる。当初は稼働率6割で事業効果は達成しているものと見込んでおり、直近半年の稼働率7～8割からも、本事業による250人以上の事業効果は表れている。
達成した(できなかった)理由	宿泊施設の利用者が増加したため。
計画終了後の状況及び事業効果	ホテル開業後は、周辺への外出者が増え、事業者の新規出店も増加している。
事業の今後について	宿泊施設が整備されたことで新規出店や歩行者通行量にプラスの影響が出ているため、宿泊施設との連携を継続して進めていく。

② 中心市街地商業等空店舗再生支援事業

(東近江市、一般社団法人八日市まちづくり公社、民間事業者)

事業実施期間	平成29年度から【実施中】
事業概要	八日市駅周辺及び商店街区域について、新規出店事業者の支援を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	八日市駅周辺及び商店街区域について、新規出店を行う事業者に対して、店舗改修費用の一部補助を実施し、平成29年度1件、平成

	30年度1件、令和元年度2件、令和2年度2件、合計6件の利用実績があり来店者の創出による通行量増加に寄与している。(休日の通行量は約1,100人増加) 事業目標値 15店舗増加/5年 最新値 57店舗増加/5年 目標達成
達成した(できなかった)理由	駅前広場整備、ホテル開業等による通行量の増加及び事業者支援により、目標達成となった。
計画終了後の状況及び事業効果	新規出店が増加したことにより、休日の通行量が増加した。
事業の今後について	新規出店者へのアプローチや各種関係団体との連携による対象者の掘り起こしなどにより活用実績を積み重ねていく。

③ 大規模商業施設再整備事業
(東近江市、民間事業者)

事業実施期間	平成29年度から【実施中】
事業概要	八日市駅前の大規模商業施設において、グリーンロードに面している部分の歩道と一体的な利用が出来るような施設壁面の開放、子育て世代のニーズに応えるキッズスペースの再整備、空店舗スペースについて、魅力的な店舗の誘致やセミナースペース等への再整備、公共施設との連携検討等、更なる集客拠点とする。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	施設再整備を進める上で必要となる施設運営体制の強化に向けた取組が進められるとともに一定の整理が行われ、概ね順調な事業進捗状況にある。(休日の通行量は約1,100人増加。) 事業目標値 15店舗増加/5年 最新値 57店舗増加/5年 目標達成
達成した(できなかった)理由	駅前広場整備、ホテル開業等による通行量の増加及び事業者支援により、目標達成となった。
計画終了後の状況及び事業効果	新規出店が増加したことにより、休日の通行量が増加した。
事業の今後について	中心市街地の核となる集客拠点として整備するための内容等について、民間事業者等も含めた各関係団体が調整を進め、事業の完了を目指す。

④ 中心市街地テナントミックス事業(一般社団法人八日市まちづくり公社、民間事業者)

事業実施期間	平成29年度から令和3年度まで【実施中】
事業概要	延命新地及び商店街において、街なみをいかしたまちづくりを行うとともに空家や空店舗を活用した町家レストラン等の誘致や未利用地を活用した店舗誘致を行う。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生拠点整備交付金(内閣府)(平成29年度) [認定基本計画:地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化支援事業)のうち先導的、実証的事業(経済産業省)(令和元年度から令和3年度)]
事業目標値・最新値及び進捗状況	商店街に隣接する古民家を改修し活用する中心市街地まちなか交流館整備事業(施設名「HON6GARDEN」)が完了し、飲食店4店舗が創業開店した。同施設利用により来街者が増加している。また、一般社団法人八日市まちづくり公社が取得した八日市駅前の古民家でレンタルオフィス等の利活用が進められている。(休日の通行量は約1,100人増加)

	事業目標値 15 店舗増加/5 年 最新値 57 店舗増加/5 年 目標達成
達成した（できなかった）理由	駅前広場整備、ホテル開業等による通行量の増加及び事業者支援により、目標達成となった。
計画終了後の状況及び事業効果	新規出店が増加したことにより、休日の通行量が増加した。
事業の今後について	一般社団法人八日市まちづくり公社の古民家について、複合機能を持った施設として整備するための改修工事が進められている。また、HON6 GARDENで新規出店があった。さらなる空家や空店舗の活用に向けて、情報収集や発信に努めるとともに、公社が主体となって家主と出店希望者とのマッチングを行うことで店舗誘致を進めていく。

⑤ 八日市駅前市有地活用事業
(東近江市、民間事業者)

事業実施期間	平成29年度から令和4年度まで【実施中】
事業概要	八日市駅前の市有地に観光交流機能、オフィス機能、分譲マンションを併設したビルと八日市駅前広場とを一体的に整備し、商業・交通結節点として来街者の利便性向上を図るための事業である。 ・構造：RC造・14F ・概要：1階 観光交流機能（202.07㎡） 2～3階 オフィス機能（708.09㎡） 4～14階 分譲マンション（全44戸、2～4LDK）
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（東近江市八日市駅前地区））（国土交通省）（平成29年度から令和元年度） 都市構造再編集中支援事業（国土交通省）（令和2年度から令和4年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和3年度は、八日市駅前市有地活用事業に係るパートナー事業者の公募を再度実施し、東レ建設株式会社がパートナー事業者として決定した。 事業期間内で効果が発現しないこととなったが、事業の実施に向けて引き続き協議及び調整を行う。 本事業により100人の事業効果を見込んでいる。
達成した（できなかった）理由	事業開始が遅れたことから、目標には未達となった。
計画終了後の状況及び事業効果	現在建設工事中である。
事業の今後について	計画期間内に事業効果は発現しないが、令和5年3月に竣工を予定している。事業がスケジュールとおりに進むように取り組んでいく。

⑥ 延命公園整備事業（東近江市、八日市地区まちづくり協議会）

事業実施期間	平成29年度から【実施中】
事業概要	八日市駅に隣接する延命公園を親子で楽しめる、季節毎に花や植物を楽しめる等、中心市街地に潤いをもたらす都市公園として再整備するため、老朽化したトイレの改修、遊具の更新及び植栽を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（平成29年度）（総務省） 〔認定基本計画：平成29年4月から令和3年3月〕
事業目標値・最新値及び進捗状況	平成29年度に策定した八日市駅周辺整備に係る整備構想をもとに関係者との事業調整を進めている。

	令和2年度は、トイレの整備等を行い公園内の環境整備を行った。年間2万人の来場者を予定し、本事業により50人の事業効果を見込んでいる。 休日の通行量は約1,100人増加し、目標達成となった。
達成した（できなかった）理由	環境整備を行ったことで、利用者が増加し、また、周辺施設も増加したことから目標達成となった。
計画終了後の状況及び事業効果	今後、詳細な整備内容を決定していく。
事業の今後について	整備内容の詳細を決定し、実施設計、整備と事業を進めていく。

●今後の対策

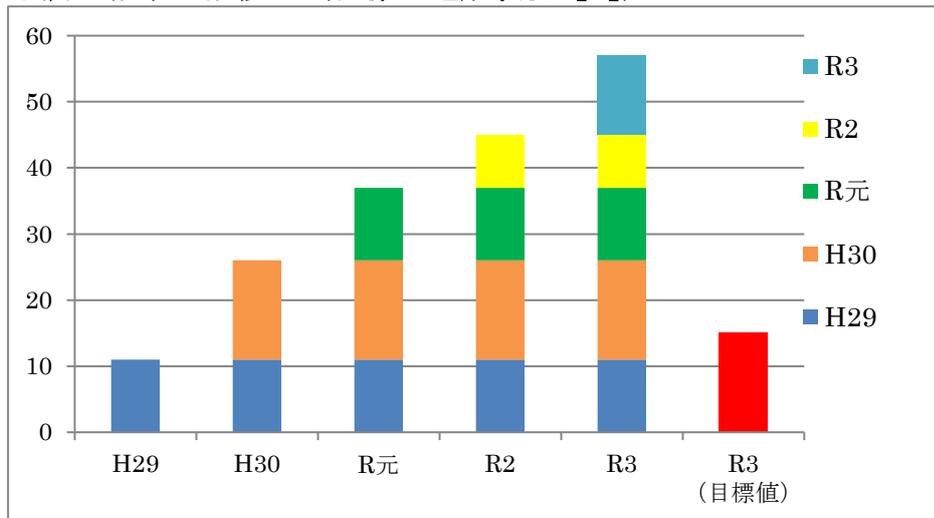
「中心市街地テナントミックス事業」、「中心市街地商業等空店舗再生支援事業」による来街者の増加や「八日市駅前宿泊施設整備事業」による宿泊客の増加で、数値は上昇したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、平日日中の時間帯を中心に通行量が減少した。最終的には、平日の通行量の目標値は未達となったものの、休日の通行量の目標値は達成した。

今後は、八日市駅前の分譲マンションの竣工や同施設での観光交流施設オープン等もあり様々な世代が訪れたいと思うまちづくりを推進するとともに、来街者の増加とまちなかへの回遊性の向上を図るためハード、ソフトの両面から官民が連携して事業を実施していく。

（3）「八日市駅周辺及び商店街での新規出店事業者数」

※目標設定の考え方基本計画P80～P81参照

●調査結果の推移（目標の達成状況【A】）



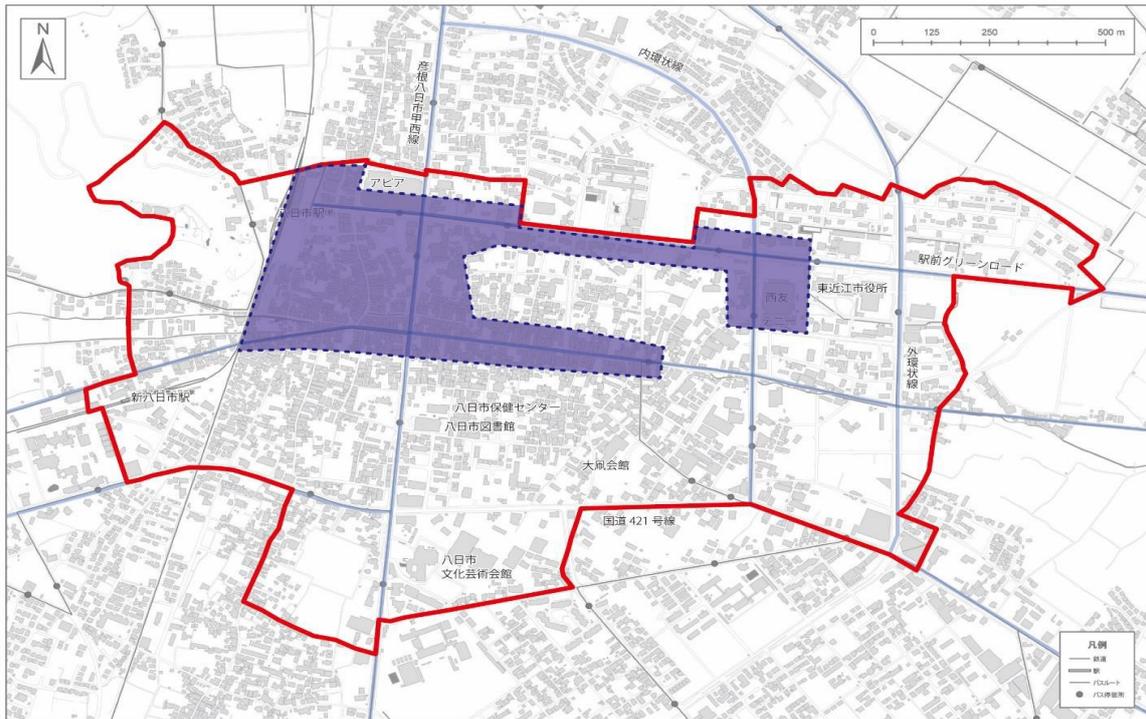
年	(単位)
H28	- (基準年値)
H29	11 店舗
H30	15 店舗
R元	11 店舗
R2	8 店舗
R3	12 店舗 (累計 57 店舗)
R3	15 店舗 (目標値)

※調査方法：現場確認による新規出店事業者調査

※調査月：毎年3月

※調査主体：一般社団法人八日市まちづくり公社

※調査対象：八日市駅周辺及び商店街地域での新規出店事業者



〈分析内容〉

八日市駅周辺及び商店街での新規出店事業者数は既に目標を達成し、各事業については概ね予定どおり進捗した。

後述する「中心市街地商業等空店舗再生支援事業」、「中心市街地テナントミックス事業」等の効果による新規出店や「八日市駅前宿泊施設整備事業」による宿泊客をターゲットにした新規出店が増加したことで、期待された効果が発現した。

新型コロナウイルス感染症の影響で飲食店舗を中心に厳しい状況が続いているが、一定数の新規出店があり、各種事業の効果から出店ニーズは維持されると考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 中心市街地商業等空店舗再生支援事業

(東近江市、一般社団法人八日市まちづくり公社、民間事業者)

事業実施期間	平成29年度から【実施中】
事業概要	八日市駅周辺及び商店街区域について、新規出店事業者の支援を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	八日市駅周辺及び商店街区域について、新規出店を行う事業者に対して、店舗改修費用の一部補助を実施し、平成29年度1件、平成30年度1件、令和元年度2件、令和2年度2件の合計6件の利用実績があり、新規出店数の増加に寄与している。 本事業により15店舗の新規出店を見込んでいる。 事業目標値 15店舗増加/5年 最新値 57店舗増加/5年 目標達成
達成した(できなかった)理由	駅前広場整備、ホテル開業等による通行量の増加及び事業者支援により、目標達成となった。
計画終了後の状況及び事業効果	新規出店が増加したことにより、休日の通行量が増加した。
事業の今後について	新規出店者に向けてのアプローチや各種関係団体との連携による対象者の掘り起こしなどにより活用実績を積み重ねていく。

② 大規模商業施設再整備事業

(東近江市、民間事業者)

事業実施期間	平成29年度から【実施中】 [認定基本計画：平成29年度から令和2年度]
事業概要	八日市駅前の大規模商業施設において、グリーンロードに面している部分の歩道と一体的な利用が出来るような施設壁面の開放、子育て世代のニーズに応えるキッズスペースの再整備、空店舗スペースについて、魅力的な店舗の誘致やセミナースペース等への再整備、公共施設との連携検討等、更なる集客拠点とする。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	施設再整備を進める上で必要となる施設運営体制の強化に向けた取組が進められるとともに一定の整理が行われ、概ね順調な事業進捗状況にある。 本事業により5店舗の新規出店を見込んでいる（当事業効果は、①の事業に包含される）。 事業目標値 15店舗増加/5年 最新値 57店舗増加/5年 目標達成
達成した（できなかった）理由	駅前広場整備、ホテル開業等による通行量の増加及び事業者支援により、目標達成となった。
計画終了後の状況及び事業効果	新規出店が増加したことにより、休日の通行量が増加した。
事業の今後について	中心市街地の核となる集客拠点として整備するための内容等について、民間事業者等も含めた各関係団体が調整を進め、事業の完了を目指す。

③ 中心市街地テナントミックス事業（一般社団法人八日市まちづくり公社、民間事業者）

事業実施期間	平成29年度から令和3年度まで【実施中】
事業概要	延命新地及び商店街において、街なみを生かしたまちづくりを行うとともに空家や空店舗を活用した町家レストラン等の誘致や未利用地を活用した店舗誘致を行う。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生拠点整備交付金（内閣府）（平成29年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	商店街に隣接する古民家を改修し活用する中心市街地まちなか交流館整備事業（施設名「HON6 GARDEN」）が完了し、飲食店4店舗が創業開店した。同施設利用により来街者が増加している。また、一般社団法人八日市まちづくり公社が購入した八日市駅前の古民家でレンタルオフィス等の利活用が進められている。 本事業により5店舗以上の新規出店を見込んでいる（当事業効果は、①の事業に包含される）。 事業目標値 15店舗増加/5年 最新値 57店舗増加/5年 目標達成
達成した（できなかった）理由	駅前広場整備、ホテル開業等による通行量の増加及び事業者支援により、目標達成となった。
計画終了後の状況及び事業効果	新規出店が増加したことにより、休日の通行量が増加した。
事業の今後について	一般社団法人八日市まちづくり公社の古民家について、複合機能を持った施設として改修工事が進められている。さらなる活用に向けて、情報収集や発信に努めるとともに、公社が主体となって家主と出店希望者とのマッチングを行うことで店舗誘致を進めていく。

●今後の対策

「中心市街地テナントミックス事業」や「中心市街地商業等空店舗再生支援事業」の事業効果に加え、「八日市駅前宿泊施設整備事業」による宿泊客をターゲットとした新規出店が進み、合計 57 店舗が新規出店したことで目標を達成した。

引き続き、「中心市街地テナントミックス事業」の継続的な取組や他の新規出店者向けの事業を推進することで、更なる新規出店事業者の増加につなげる。